

アルピコ交通(株)からの路線廃止協議の申し入れについて

【北屋島線・犀北団地線・小市線】

都市整備部交通政策課

1-2 北屋島線 利用状況

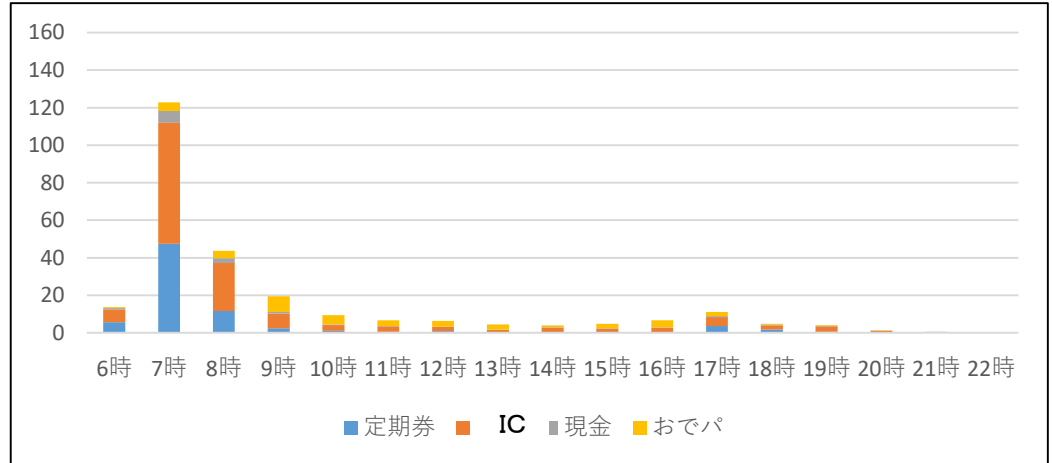
(集計期間:2019年6月)

- ・平日（月～金）に平均的な利用があるが、土日はその27%程度にとどまる。
- ・定期券利用率は全体の26%。主に平日に利用されている。
- ・全体としての利用のピークは朝7時台。北屋島方面から市街地方面への通勤・通学利用が多く、逆方向利用は16時～21時台に分散している。
- ・日中の利用の大半はおでかけパスポートのため、高齢者の利用が中心と考えられる。

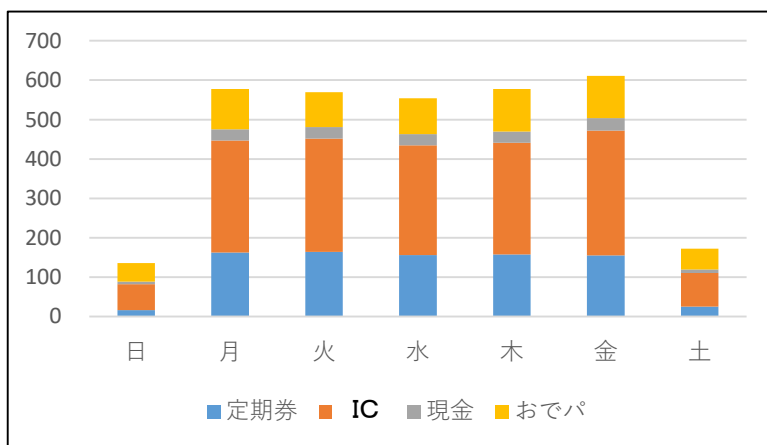
平均利用者数

区分	平均利用者数
1ヶ月あたり	13,099人
平日1日あたり	578人
土日1日あたり	154人
1週間あたり	3,198人

北屋島から市街地方面への利用(平日・人)



曜日別・利用形態別 1週間あたり平均利用者数(人)



市街地から北屋島方面への利用(平日・人)



2-1 犀北団地線 概要

犀北団地線（長野駅～裾花小学校～犀北団地）

1. 犀北・宮沖・伊勢宮団地を循環し、長野駅とを結ぶ路線。
2. 他の路線との共通区間は少ないが、国道沿いのバス停やJR駅と近接している停留所がある。
固有停留所は14か所

系統キロ：循環線 9.0 km
 長野駅～工業高校 5.8 km
 善光寺大門～工業高校 7.1 km
 運行回数：8,137回
 実車走行キロ（年間）：67,720.4 km
 営業収入：24,500千円
 (2018年度)

■運行時刻表(2019年4月現在)

平日																									逆回り		逆回り
長野駅			7:15		7:40	8:05	8:25	9:15	10:15	11:15	12:15	13:15	14:15	15:15	16:15	16:45	17:15	17:45	18:15	18:45	19:15	19:45	20:15	21:00	21:45		
裾花中学校前			7:22		7:47	8:12	8:32	9:22	10:22	11:22	12:22	13:22	14:22	15:22	16:22	16:52	17:22	17:52	18:22	18:52	19:22	19:52	20:22	21:07	21:52		
長野工業高校前	6:40	7:10	7:25	7:45	7:50	8:15	8:35	9:25	10:25	11:25	12:25	13:25	14:25	15:25	16:25	16:55	17:25	17:55	18:25	18:55	19:34	19:55	20:25	21:10	22:04		
犀北団地	6:45	7:15	7:30	7:50	7:55	8:20	8:40	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:15	22:00		
裾花中学校前	6:52	7:22	7:37	7:57	8:02	8:27	8:47	9:37	10:37	11:37	12:37	13:37	14:37	15:37	16:37	17:07	17:37	18:07	18:37	19:07		20:07	20:37	21:22			
長野駅	7:05	7:35	7:55	↓ ↓	8:20	8:45	9:05	9:51	10:51	11:51	12:51	13:51	14:51	15:51	16:51	17:21	17:51	18:21	18:51	19:21		20:21	20:51	21:36			
善光寺大門				8:20																							

土日祝																									逆回り		逆回り
長野駅		7:30	8:15	9:15	10:45	12:15	13:15	14:15	15:15	16:15	17:30	18:30	19:15	19:45	20:30												
裾花中学校前		7:37	8:22	9:22	10:52	12:22	13:22	14:22	15:22	16:22	17:37	18:37	19:22	19:52	20:37												
長野工業高校前	7:05	7:40	8:25	9:25	10:55	12:25	13:25	14:25	15:25	16:25	17:40	18:40	19:34	19:55	20:49												
犀北団地	7:10	7:45	8:30	9:30	11:00	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30	17:45	18:45	19:30	20:00	20:45												
裾花中学校前	7:17	7:52	8:37	9:37	11:07	12:37	13:37	14:37	15:37	16:37	17:52	18:52		20:07													
長野駅	7:30	8:06	8:55	9:51	11:21	12:51	13:51	14:51	15:51	16:51	18:06	19:06		20:21													
善光寺大門																											



※2020年4月一部減便を実施

2-2 犀北団地線 利用状況

(集計期間:2019年6月)

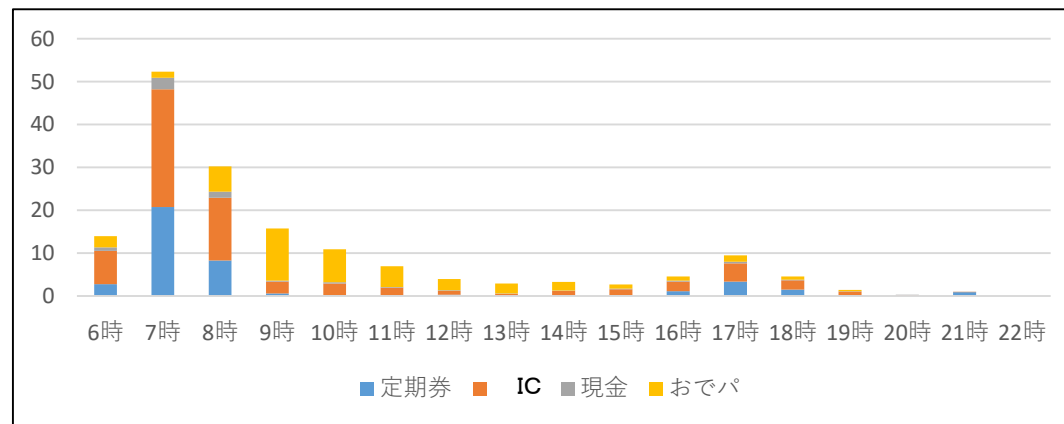
5

- 平日（月～金）に平均的な利用があるが、土日はその半分以下にとどまる。
- 定期券利用率は全体の22%。主に平日に利用されている。
- 全体としての利用のピークは朝7時台。団地地区から市街地方面への通勤・通学利用が多く、逆方向利用は16時～21時台に分散している。
- 日中の利用の大半はおでかけパスポートのため、高齢者の利用が中心となっている。

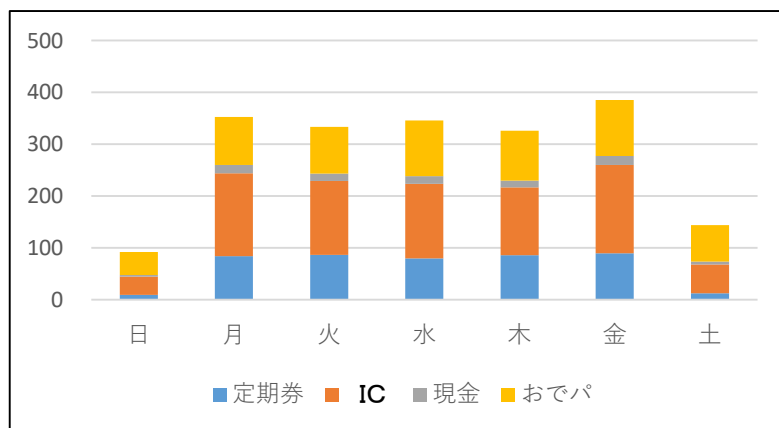
平均利用者数

区分	平均利用者数
1ヶ月あたり	8,151人
平日1日あたり	349人
土日1日あたり	118人
1週間あたり	1,979人

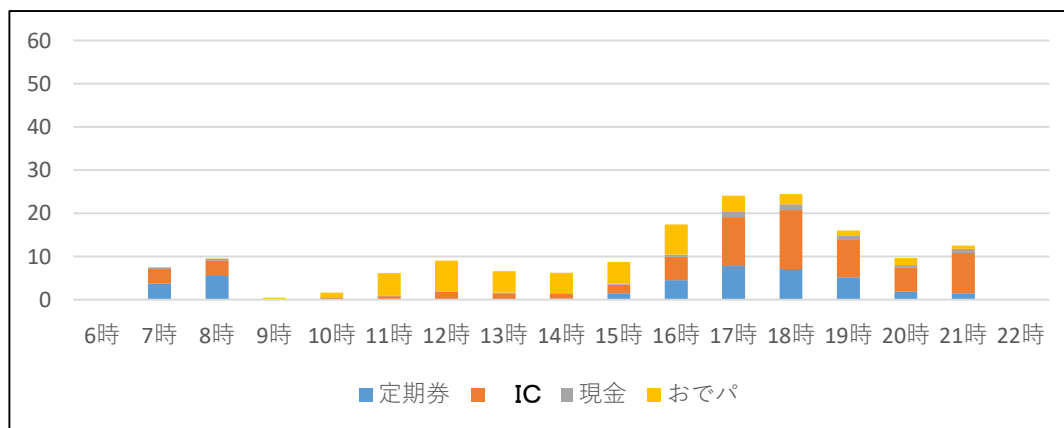
犀北団地から市街地方面への利用(平日・人)



曜日別・利用形態別 1週間あたり平均利用者数(人)



市街地から犀北団地方面への利用(平日・人)



3-1 小市線 概要

小市線（長野駅～小市団地団地）

1. 平日の日中の運行。
2. 路線の9割以上が地域間幹線系統と共通区間となっている。
→ 固有停留所は1か所のみ。

系統キロ：6.2 km

運行回数：2,420回

実車走行キロ（年間）：15,004.0 km

営業収入：4,400千円

(2018年度)

■運行時刻表(2019年4月現在)

平日					
長野駅	8:45	9:45	10:45	12:45	15:00
差出	8:50	9:50	10:50	12:50	15:05
西河原	8:54	9:54	10:54	12:54	15:09
小市団地	9:01	10:01	11:01	13:01	15:16
小市団地	9:05	10:05	11:05	13:10	15:25
西河原	9:10	10:10	11:10	13:15	15:30
差出	9:12	10:12	11:12	13:17	15:32
長野駅	9:21	10:21	11:21	13:26	15:41

※土休日は全便運休



3-2 小市線 利用状況

(集計期間:2019年6月)

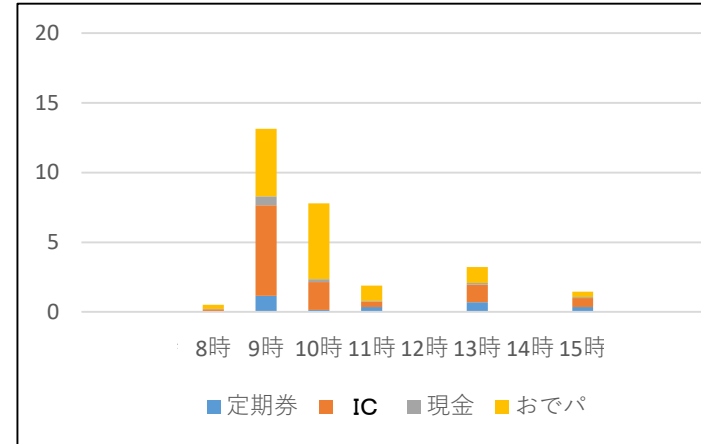
7

- ・平日（月～金）で曜日を問わず平均的に利用されている。
- ・定期券比率は6%と低く、おでかけパスポートの利用が中心となっている。
- ・朝9～10時台に団地方面から市街地に利用し、12時に帰宅するという利用傾向がみられる。

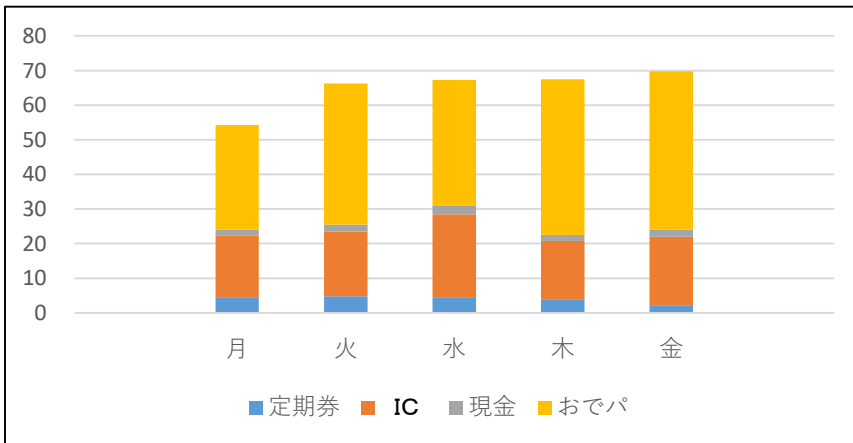
■ 平均利用者数

区分	平均利用者数
1ヶ月あたり	1,300人
平日1日あたり	65人
土日1日あたり	一人
1週間あたり	325人

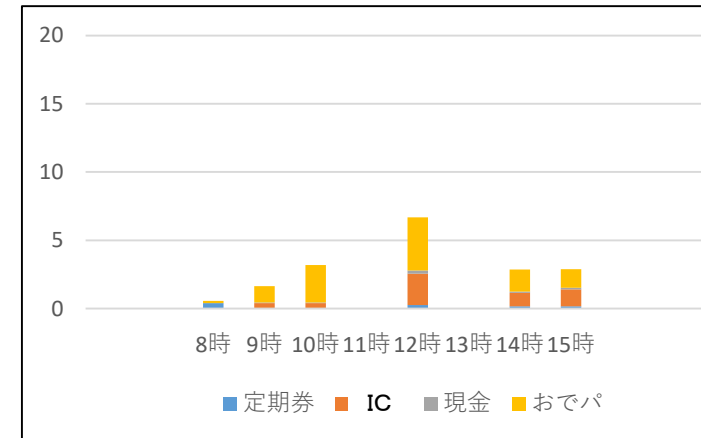
■ 小市団地から市街地方面への利用(平日・人)



■ 曜日別・利用形態別 1週間あたり平均利用者数(人)



■ 市街地から小市団地方面への利用(平日・人)



4 現状と課題

・該当3路線の収支状況は、大幅な赤字が継続している。

◆平成30年度(台風災害・新型コロナの影響なし)

項目	北屋島線	犀北団地・小市線
営業収入	56,000千円	29,000千円
運行経費	74,000千円	46,600千円
赤字	▲18,000千円	▲17,600千円

※小市線は、犀北団地線と一体的(同一車両)な運行を実施

- ①コロナ禍の中、路線バスの利用者は減少し、例年の水準までの回復が見込めない(前年の約8割)状況にあり、赤字幅は更に広がっている。
- ②路線バスの赤字は、高速・貸切バス事業の収益で補っている事業構造となっており、コロナ禍において高速・貸切バス事業の回復が見込めない状況下では、厳しい経営環境に置かれている。
- ③乗務員の長時間勤務等により人件費の圧縮を図っているが、「働き方改革」により拘束時間の短縮を求められているため、今後は新たな人員配置による人件費の増加が見込まれる。
- ④朝・夕の通勤・通学時間帯に利用者が集中し、そのピーク時に合わせた人員・車両を配置をしていることから、大幅な経費削減が図れず、利用者が少ない日中や通勤・通学と反対方向への便についても運行せざるを得ない状況にある。



自主運行による路線維持は困難

5 路線廃止協議（3路線）の対応について

- ・該当の3路線は、通勤・通学時間帯等に一定の利用者があるため、市が補助金を交付し、バス事業者が運行を継続する「**廃止路線代替バス**」として、市民の足を確保していく。
- ・「**廃止路線代替バス**」として運行を継続する際は、利用状況等から運行内容の見直しを図る。

【廃止路線代替バス】

民間バス事業者が廃止を表明にしたバス路線を、地域住民の日常生活に必要な交通手段として維持するため、市がバス事業者に**補助金**を交付し、運行を継続しているバス路線

※**補助金** … 経常費用から経常収益を差し引いた額を補助金として交付

◆路線廃止協議（3路線）

路線名	年間補助金見込額
北屋島線	16,000千円
犀北団地線	12,000千円
小市線	4,000千円
合計	32,000千円

◆現行の廃止路線代替バス（6路線）

路線名	年間補助金見込額
篠ノ井新町線	20,000千円
川後線	14,000千円
金井山線	19,000千円
松代篠ノ井線	4,000千円
赤柴線	7,000千円
大豆島保科温泉線	23,000千円
合計	87,000千円

6 今後のスケジュールについて

10

